なぜ英語が話せないの

会話上達法第三部

〈68〉

間違いやすい表現

地道な努力で正しく

久留米市御井町で英語を教える細見明さん(四九)は「口から出にくい表現」として、次のような単語や文章を紹介している。

例えば、肉が「かたい」や「やわらかい」は「hard」と「soft」ではなく「tough」と「tender」。「乗り物酔い」の「motion sickness」は、バス、飛行機、船酔いのいずれかにも使える。ただし「morning sickness」は、つわり時の「吐き気」だから要注意。

「追試験」は何と言うか。「make-up test」が一般的。「寝酒」は「night-cap」。「のどぼとけ」は「Adam's apple」。「更年期」は「the change of life」である。

間違いやすい表現では「long face」がある。顔が長いという意味ではなく「She has a long face.」は「彼女は顔が長い」なら「She has a long face」。それから「homely wife」は米国では「家庭的な妻」のことではなく「顔がきれいでない妻」を指す。

むずかしい表現では、次のような例をあげている。

「足がしびれた」と言う場合は「My leg is asleep.」。「Tom was at the wheel.」のように使う。

それから「bus boy」や「bus girl」は、米国ではレストランなどで客が食べ終わった食器を流しに運ぶ人のこと。「She worked at a restaurant as a bus girl.」などが具体例だ。

それから同じ「宇宙飛行士」にしても米国の飛行士なら「astronaut」、ソ連飛行士だと「cosmonaut」と変わるケースもある。

細見さんは、こうした表現に困る単語や表現を少しずつ集めているが、年月がたつにつれ、その量は雪だるま式に増えていった。語学には、特にこうした地道な努力が欠かせない。

地道な努力が必要と話す細見明さん

s are asleep. Tom was at the wheel.」「36枚撮りのフィルムください」は「Please give me a roll of film with 36 exposures」。「からかわないでください」なら「Don't pull my leg.」となる。

同様に「He is cheap.」は「彼はケチだ」の意味で「I'm broke today.」は「今日はお金を一銭も持ってない」である。それから自動車を運転するときの「ハンドルを握る」という表現は「When they hand an acci